

2022年度 セルロース学会西部支部・繊維学会西部支部合同セミナー

日時：2022年11月4日（金）13:00より

場所：ホテルJALシティ宮崎（宮崎市橘通西4丁目2-30）

<http://www.miyazaki-jalcity.co.jp>

（アクセス：<http://www.miyazaki-jalcity.co.jp/access-map-.php>）

主催：セルロース学会西部支部・繊維学会西部支部

形式：対面（予定）

※状況によってリモート形式またはハイブリッド形式に変更させていただく場合もあります。

参加費：無料（懇親会は有料）

13:00～13:10 開会の挨拶

13:10～13:55 宮崎大学農学部・教授 林 雅弘 氏

「ユーグレナの産生する β -1,3-グルカンのバイオプラスチック、ナノファイバーへの応用」

微細藻類ユーグレナ（ミドリムシ）は細胞内に多量の β -1,3-グルカン（パラミロン）を蓄積する。このパラミロンをバイオプラスチックやナノファイバー原料として利用する試みが最近活発化している。本講ではパラミロンを原料としたバイオプラスチック、ナノファイバーの特長を紹介する。

13:55～14:40 福岡女子大国際文理・教授 吉村 利夫 氏

「紙おむつリサイクルの現状と課題」

紙おむつは育児や介護の必需品であるが、使用後は水分を含んでいるにも関わらず、おもに焼却処理されている。その一方で、高温焼却のために助燃剤（重油）が大量に使用され、環境負荷の大きな処理となっている。そのため、近年使用済み紙おむつのリサイクルが注目され、一部でパルプのマテリアルリサイクルが実現している。その現状と課題を解説する。

14:40～15:00 （休憩）

15:00～15:45 九州大学大学院農学研究院・准教授 横田慎吾 氏

「ヤヌス型セルロースナノファイバーの界面特性

水中カウンターコリジョン法により得られるセルロースナノファイバーは、親水性面と疎水性面を併せ持つヤヌス型繊維構造を有する。本講演では、その特異な表面構造を活かした界面物性制御や最近の粒子材料への研究展開について紹介する。

15:45～16:30 宮崎大学工学部・教授 井澤 浩則 氏

「キトサンフィルム表面のリンクル形成現象～スキン層の科学の開拓～」

我々は、キトサンフィルム表面に乾燥によってリンクルが生成する現象を発生し、スキン層がリンクル生成の鍵となっていることを明らかにしてきた。本講演では、スキン層の構造制御に着目した最近の研究を紹介する。

16:30～ 閉会の挨拶

18:00～ 懇親会（会場は申込頂いた方にメールでご連絡いたします）

一般 4,000円、学生 2,000円

連絡先および参加申込方法

宮崎大学 工学部 応用物質化学プログラム 湯井 敏文

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1

E-mail: tyui@cc.miyazaki-u.ac.jp、Phone: 0985-58-7319

2022年10月30日（日）までに、以下の Google Form より申し込みください。

<https://forms.gle/zipmsa6r2gyEY6kz8>

Google Form での申し込みができない場合には、電子メールにより氏名、所属、連絡先（メールアドレス、電話番号）、懇親会参加の有無をご連絡ください。